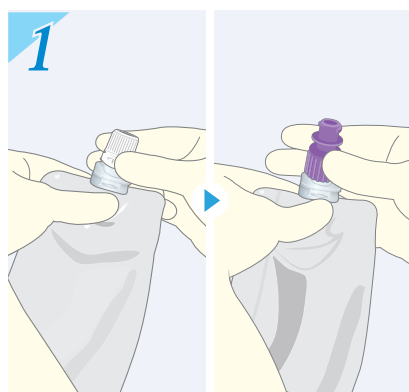
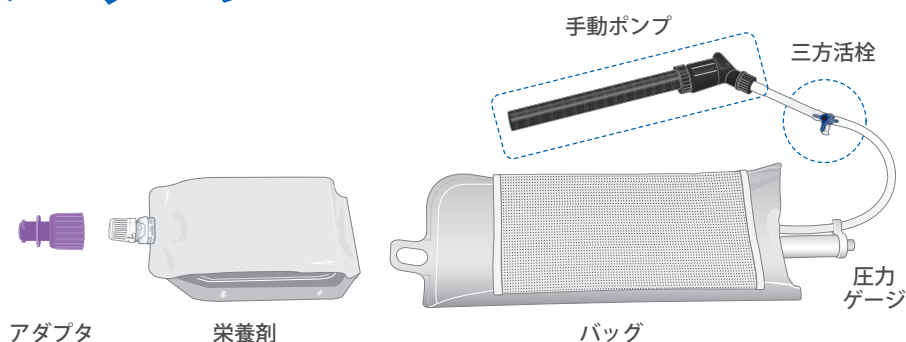
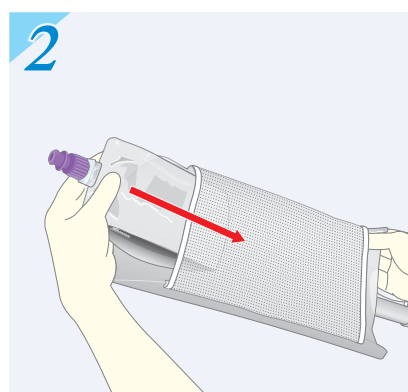


EN加圧バッグの 使用方法

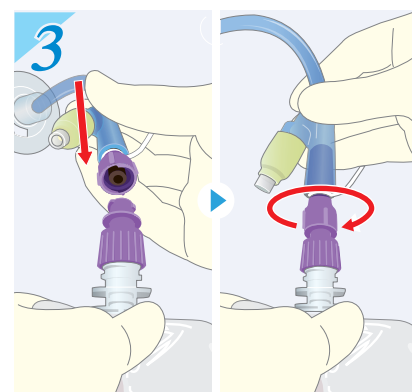
【EN加圧バッグ】 医療機器届出番号: 27B1X00045000159
医療機器クラス分類: クラスⅠ (一般医療機器)
一般的名称: 手動式圧注入調節装置



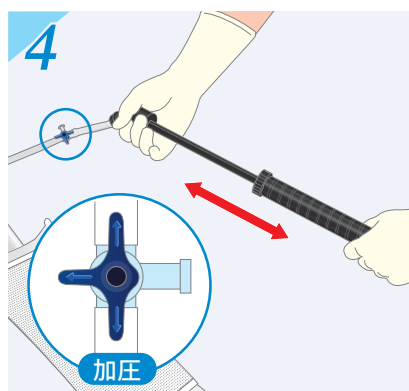
1 栄養剤のふたを開け、アダプタと
しっかり接続する。



2 栄養剤をバッグにセットする。



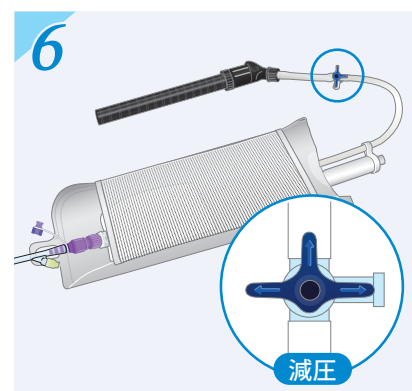
3 アダプタを胃瘻カテーテルにしっかり
接続する。



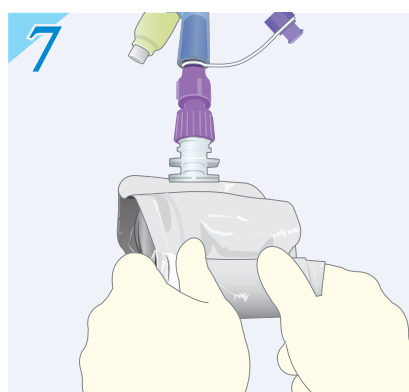
4 三方活栓を閉じ、バッグを加圧する。



5 加圧後、三方活栓を維持の向きに
合わせ、投与を開始する。

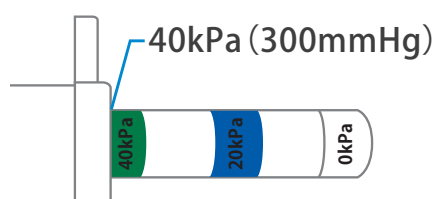


6 栄養剤の投与が終了したら、三方活栓を
開き、バッグ内の空気を脱気する。



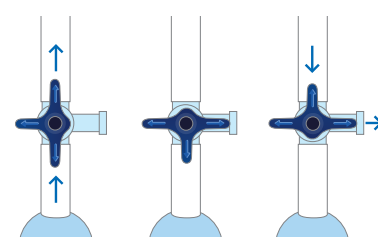
7 バッグから栄養剤の容器を取り出し、
残りの栄養剤を投与する。

■ 加圧の目安



圧力ゲージの40kPaの目盛りが見えるまで
加圧してください。

■ 三方活栓の操作



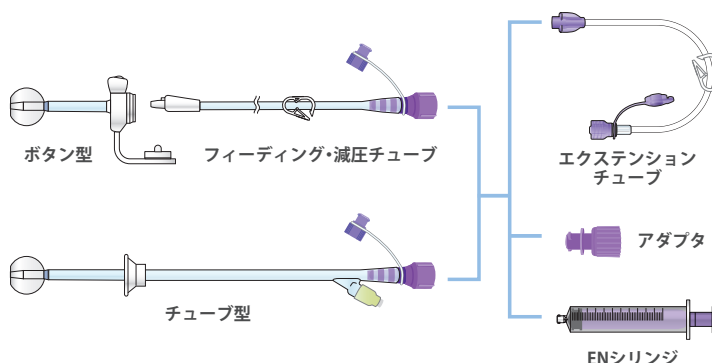
加圧

維持

減圧

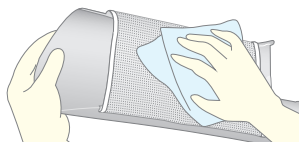
Q1 栄養剤等を投与する際に必要な物がありますか？

A1 エクステンションチューブ、アダプタ、ENシリンジを使用する投与方法があり、それぞれ必要な製品が異なりますのでご注意ください。

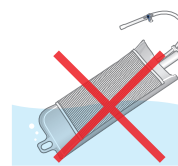


Q2 日常の管理はどのようにすればいいですか？

A2 栄養剤等が付着した場合は、水分を含ませた布で清掃してください。



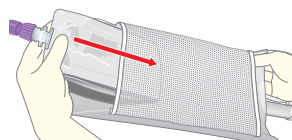
バッグを水に漬けないでください。



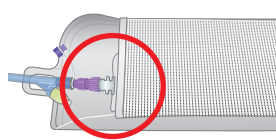
アルコール、消毒剤、液体洗剤等を吹きかけたり、付着した布等で拭かないでください。

Q3 使用する際に注意する点がありますか？

A3



メッシュが破損するおそれがありますので、栄養剤等の容器を無理にバッグへ挿入しないでください。



栄養剤容器の接続部がメッシュに被らないようにセットしてください。メッシュが破損するおそれがあります。



本品を落下させると手動ポンプが破損するおそれがありますので、本品の落下等にはご注意ください。

Q4 EN 加圧バッグはいつまで使用できますか？

A4

右記の状態が確認された場合は使用限界になります。修理や部品のみの販売は行っておりませんので新しい製品をご購入ください。

栄養剤を装填するメッシュ部の破損が確認された場合。

加圧したときにバッグ又はエアホースから空気漏れがあり、圧力ゲージがあがらない場合。

手動ポンプにがたつきや異音を確認でき、うまく空気が入らない場合。

排気を行っても、圧力ゲージが戻らない場合。